
 記 事

例会記録

第45回 日本医史学会神奈川地方会 秋季例会・
日本医史学会9月例会 合同例会

平成27年9月12(土)
鶴見大学3号館2階3-4講堂

特別講演

医史学を学んでのよろこびについて
順天堂大学特任教授・日本医史学会前理事長
酒井シヅ

一般講演

小林一茶『父の終焉日記』(1801)にみる父親へ
の看病内容 平尾真智子

日本医史学会10月例会

平成27年10月24日(土)

順天堂大学医学部センチュリータワー16階北フロア

1. 明治期に来日したアメリカ人女性医療宣教師
について 藤本大士
2. お玉ヶ池種痘所五人衆の足跡を求めて 深瀬泰旦

書 評

瀧澤利行, 七木田文彦, 竹下智美 著
『雑誌「養護」の時代と世界
——学校の中で学校看護婦はどう生きたか——』

明治38(1905)年にわが国で初めて養護教諭の前身である学校看護婦が誕生して、2015年で110年を迎える。その記念すべき年に学校看護婦の成立からその後身といえる養護訓導の成立までを視野に収めた学校看護史の書が発刊され、深い感慨を覚える。

本書は大空社による復刻版「雑誌『養護/学童養護』(全9巻・別巻1)セットのうちの別巻である。これは昭和3年から昭和12年まで発刊された学校看護婦のための専門誌「養護」とその後継誌である「学童養護」の復刻版を全9巻に収め、その解題と学校看護婦の通史を別巻1冊としたものである。これらは学校保健・学校看護を研究するには必須の歴史書であろう。この分野では杉浦守邦氏による『養護教員の歴史』(1974)が、医療

系研究者によるものとしてすでにあるが、新しい研究成果を盛り込んだ書が期待されていた。学校保健を取り巻く社会状況を広く捉え、外国の制度も参考にしながら日本の戦前期の学校看護婦に光を当てている。また今回復刊された雑誌『養護』『学童養護』の内容を、独立した第四章に多く盛り込んでいる。本書の内容はつぎのとおりである。

序 章

- 第一章 学校衛生(学校保健)の成立と学校看護
- 第二章 帝国学校衛生会の設立と看護部
- 第三章 帝国学校衛生会看護部の設置とその活動
- 第四章 雑誌「養護」「学童養護」の中の学校看護婦
- 第五章 養護訓導の誕生と量的拡大過程
- 結章 時代の中の学校看護婦

2015年現在、養護教諭になるには、養護教諭の教員免許状の取得が必要である。養護教諭養成課程のある教育系の大学や短大で所定の科目を修了するか、看護系の大学や短大、看護専門学校で所定の科目を4科目8単位履修し、かつ保健師の免許を取得することで、養護教諭免許状(1種または2種)が取得できる。さらに修士の学位を有する者は養護教諭専修免許状を取得できる。筆者は保健師で養護教諭1種を取得している。その後公立学校の場合は都道府県の教員採用試験(私立学校では採用試験)を受け、採用されれば養護教諭として働くことができる。女性の養護教諭が多いが男性の養護教諭もいる。

学校看護婦の歴史は本書にもあるように臨時雇いの看護婦から始まり、今日の専門性を持つ学校看護の実践に至るまで苦闘の歴史であった。自立に向けての闘いは現在も続いている。本書のような戦前の学校看護に関する雑誌の復刻版の発刊により、資料へのアプローチが容易となり、日本看護歴史学会でも、今年の学会では看護職自身がこれらの復刻版雑誌を研究資料に活用した研究を行っている。

本書は健康思想史の瀧澤利行氏、健康教育学の七木田文彦氏、養護教諭史の竹下智美氏の三者による協働執筆で、教育系研究者による研究成果である。

看護史を研究している立場からは、戦前の学校看護婦に准看護婦資格が関連していることを付記してほしいという思いが残る。戦前期の看護婦資

格を規定していたのは大正4年制定の内務省令「看護婦規則」である。ここには看護婦資格の取得方法として指定看護婦学校卒と看護婦検定試験合格の2つが規定されているが、付則として准看護婦について定めている。この准看護婦は知事が履歴審査のみで認めるもので、講習会レベルの看護研修を受けている者や花柳病など専門病院でのみ限定して働く看護婦などの場合に与えられた。しかし法的には正式な免許で派出看護婦会では料金表に准看護婦の日当が掲載され、見習いよりも高い料金となっている。戦前期の厚生省医療者統計にも准看護婦の就業者数は計上されている。この戦前期の准看護婦と学校看護婦は大いに関係がある。杉浦氏の『養護教員の歴史』には、昭和4年の文部省訓令「学校看護婦=関スル件」以前に准看護婦免許取得者にも学校看護婦資格を与えている県として新潟、徳島、福井、熊本、青森、愛媛、静岡をあげている。また昭和11年の岐阜県女子師範学校衛生教授施設では、2ケ年で女子師範学校生に学校看護婦養成の講習会を実施し、修了者にはすべて准看護婦免許を授与していることが、記されている。本書にはこれら准看護婦資格と学校看護婦との関係は記述されていない。検討してほしい事項である。

(平尾真智子)

[大空社、〒114-0032 東京都北区中十条4-3-2、
TEL. 03(6454)3400、2015年3月、A5判、400
頁、8,600円+税]

鳥井裕美子 著、大分県立先哲史料館 編 『前野良沢——オランダ人のぼけものと呼ばれた男—— (大分県先哲叢書〔普及版〕)』

この度、鳥井裕美子(大分大学教育福祉学部)教授により『大分県先哲叢書 前野良沢(普及版)』が大分県教育委員会から出版された。この本は同著者による『大分県先哲叢書 前野良沢』や『前野良沢』、並びに鳥井裕美子教授監修の『前

野良沢資料集』第1巻~第3巻が基となっている。

この度の普及版はこれらの史料に基づいてより一般の人々に読みやすくするために広瀬剛氏による挿絵も豊富に入れて前野良沢をよりわかりやすく紹介している。